

ユーザーワン

UG-I グラウト工法

NETIS登録番号：KK-200030-A

株式会社大阪防水建設社

〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町7-6

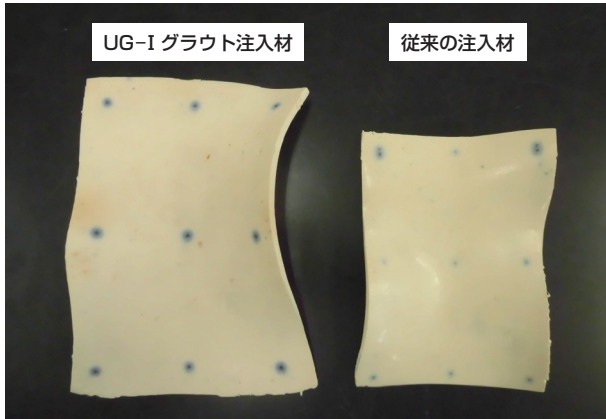
TEL 06-6762-5621 FAX 06-6761-9291

URL https://www.obcc.co.jp/ mail info@obcc.co.jp

[資料請求先] 技術部 (TEL.06-6765-1717、FAX.06-6767-0570)

[支店] 東京支店 (TEL.03-5621-6071)、名古屋支店 (TEL.052-918-8601)、大阪支店 (TEL.06-6762-5628)、九州支店 (TEL.092-504-7270)

[営業所] 仙台、奈良



従来の注入材との収縮量比較



注入状況

概要

「UG-I グラウト工法」は、従来の1液型ポリウレタン樹脂注入材に2種類の添加剤を加えることにより、硬化物の収縮率を低減させた技術。止水効果の持続期間向上と、コンクリート構造物の耐久性向上を実現している。

UG-I グラウト注入材



特長

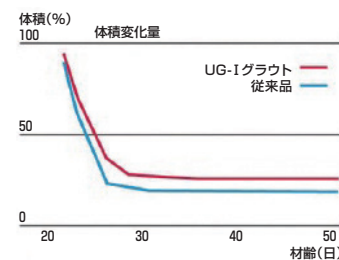
- 1液型ポリウレタン樹脂注入材に2種類の添加剤を加えることで、硬化後の収縮を抑え再漏水や再注入のリスクを低減。
- 1液型の低粘度材料で粘性もほとんど変化なく、細部充てん性（ひび割れ等）に優れる（20℃：300～500mPa・s）。
- 接着性・伸縮性にも優れているため長期耐久性が期待でき、ライフサイクルコストが削減できる。（大深度漏水補修対策（耐水圧1.0MPa）にも対応：社内試験）
- 従来の注入機材と攪拌機で施工できるので、汎用性にも優れる。

用途・適用範囲

コンクリート構造物全般の漏水補修対策（共同溝、トンネル、地下街、地下駐車場、下水道施設など）

各種試験結果等

●収縮量試験



厚さ5mmのシート状供試体の
気中養生(乾燥促進条件)
2週間後の比較

●大深度漏水補修対策を想定した耐水圧試験



施工手順

